

『当たり前』のことが一番大切
仕事に出かけて、『無事に帰ってくる』…、そして、『ただいま』と家のドアを開ける

◆歩行者・自転車・バイク事故の根絶◆

- 歩行者がいないかと、意識して安全確認
- 一時停止の場所では完全停止
- 歩道を横切るときも、一時停止が義務
- バイク発見時は、距離が「近いかも」と考える

◆構内・バック時の事故防止◆

- 構内でも、運転中は運転に集中し、わき見はしない
- 作業のこと、荷物のことを考えるのは、停車の後にしましょう
- バック進入路、シャッター、他車の有無などを一旦停止し、自分の目で確認
- 自車の後方の状況を把握せずには、バック出来ない
- 必ず、一旦降りて、後ろの状況を、自分の目で確認

◇デイ・ライトで知らせよう…自分の存在、はみ出し、正面衝突事故防止◇

スピードは出していないか

見落とすな！ 『一時停止の標識』 確実な『一時停止』と左右の安全確認

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

敷地から右折で出てきた車にはねられ・・・

横断中の男性はねられ重傷、ひき逃げで捜査

◇駐車場を出る時は…十分に余裕を持って、直進車・歩行者に注意し行いましょう◇

2018/4/20(金) 18:50

19日午後7時前、市道で横断中の男性(50)が市役所の敷地から出て右折した車にはねられ重傷を負う事故がありました。車はそのまま逃走し、警察はひき逃げ事件として捜査しています。警察は周辺の防犯カメラの映像を分析するなど、逃げた車の行方を追っています。

「しっかり見てなかった」

横断中の76歳女性、市役所の公用車にはねられ死亡

◇車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう◇

2018/4/21(土) 0:20

20日午後4時過ぎ、国道で、市役所の公用車が道路を渡っていた近くに住む女性(76)をはねました。女性は病院に運ばれましたが、まもなく死亡しました。警察は、公用車を運転していた市役所の職員の男性容疑者(51)を過失運転傷害の容疑で現行犯逮捕しました。容疑者は「しっかり見てなかった」と容疑を認めている。

信号交差点 どちらかが信号無視？

原付バイクの16歳高校生が、61歳女性運転の軽乗用車に出合い頭にはねられ意識不明の重体

2018/4/21(土) 7:26

20日午後8時20分頃、愛知県の信号交差点で、原付バイクを運転していた男子高校生(16)が、会社員の女性(61)運転の軽乗用車と出合い頭に衝突し意識不明の重体です。軽乗用車の女性も、顔を切るなどの軽いケガをしました。現場は見通しのよい信号交差点で、警察は軽乗用車と原付バイクのどちらかが信号無視をした可能性があるとみて事故の状況を詳しく調べています。

バイクと衝突 大型トラックの運転手を、ひき逃げ容疑で送検へ

バイクがセンターラインを越えて衝突した過失

◇デイ・ライトで知らせよう…自分の存在、はみ出し、正面衝突事故防止◇

2018/4/20(金) 10:24

19日午後9時半頃、愛知県でバイクと大型トラックが衝突し、バイクの男性が軽傷を負いました。警察は事故後現場を離れていたトラックの運転手をひき逃げ容疑で書類送検する方針です。警察によりますと、バイクが対向車線の大型トラックに衝突し、23歳の会社員の男性が右人差し指を骨折するけがを負いました。トラックの男性運転手は一旦現場を離れ、その後警察に届け出ました。バイクがセンターラインを越えて衝突した過失があることから、警察は男性運転手をひき逃げ容疑で在宅起訴し書類送検する方針です。

酒気帯び運転、速度30km/hオーバー 逮捕

◇違反だと…分かってやってる、『飲酒運転』 「飲酒運転は事故でなく犯罪」◇

2018/4/21(土) 1:10

20日午後10時前、鹿児島県で酒気帯び運転などをした疑いで、男(68)が現行犯逮捕されました。警察によりますと、容疑者は、県道で、指定の最高速度を30キロ超える時速80キロで軽乗用車を運転中、取り締まりをしていた警察官に発見されました。警察官が調べたところ、呼気から基準値を超えるアルコールが検出されたことから、酒気帯び運転と最高速度違反の疑いで現行犯逮捕されました。容疑者は容疑を認めているということです。警察が飲酒量や犯行のいきさつなどを調べています。